

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 8 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	①入居時に利用者様、家族様に重説で「重度化・終末期に向けた指針」の説明、捺印はあるも、リビングウィルのような延命治療に関する書式がない。 ②終末期に関する定期的な研修がなく、職員のスキルによって一抹のばらつきがある。	①利用者様・家族様が望んでいる終末期のケアを書式に残し、双方が納得し安心して終末期を迎えられるようにする。 ②職員によりばらつきのあるケアではなく、一定のケアを提供できるようにする。	①リビングウィルのような書式を作成し、利用者様・家族様に説明する。現状延命治療を望まれている方には捺印して頂く。一度の説明で終わるのではなく、機会機会に説明させて頂き、現状の意思を形にしていく。 ②年間の研修計画を作成し、毎月の全体会議で10分程度の勉強会(病気、対応、連絡方法など)を行い、知識を高める。マニュアルを作成し、一定基準のケアを行っていく。	6ヶ月
2	35	①火災に関しての訓練は行っているが、水害に関しての訓練は行っていない。 ②施設スタッフのみの訓練は行っているが、地域の方参加型の訓練は行っていない。	①火災以外の災害時でも、しっかり対応できるようにする。 ②災害時には、施設だけで対応するのではなく、地域住民の方々にも助けて頂けるようにする。	①行政・消防から情報を習得し、マニュアルを作成する。 年に2回、火災だけでなく、水害・地震の訓練も行う。月に1回、全体会議で5分ほどの災害対策を説明する。 ②年2回の訓練時に、自治会や近隣の方に説明し参加を促す。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。